

## CBRNE災害検討部会について

### 1. CBRNE災害とは

化学(chemical)・生物(biological)・放射性物質(radiological)・核(nuclear)・爆発物(explosive)によって発生する災害のこと。

対応には、測定器や防護服等の専用資機材が必要となる。

高知県災害時医療救護計画の第3局地災害編に、「災害や事故等により重症患者が10名以上発生、または発生することが予想され、かつ、地域の通常の救急医療体制では対応が困難と考えられる」災害・事故のひとつとして記載している。

### 2. 資機材整備の状況

高知県においては、救命救急センターである高知赤十字病院、高知医療センター及び近森病院の3病院に対して、平成22年度に資機材整備に係る補助事業により整備を実施。現在、これらの資機材について、経年劣化等に係る更新を行う必要が生じている。

#### ・主な整備済資機材

線量率測定器、除染テント、除染シャワー、防護服、防毒マスク、吸収缶、携帯型化学検知器、POCT血液分析器、アイソレータ、搬送用人工呼吸器

#### ・財源

県費：1/2

国費：1/2（NBC災害・テロ対策設備整備事業）

#### ・補助メニュー

- ①表面汚染測定器、線量率測定器等
- ②化学防護服、防毒マスク等の防護用品
- ③簡易毒劇物検査キット
- ④除染設備
- ⑤化学物質中毒解析装置
- ⑥携帯型生物剤検知装置等

### 3. CBRNE災害検討部会設置の経緯と目的

3病院（高知赤十字病院、高知医療センター、近森病院）に対して整備した資機材について、経年劣化等に対応した更新をこれまで継続して行っていたが、対応方法の考え方等の変化に合わせて、整備する資機材の範囲等についての検討が必要となっていた。

このことについて、令和6年3月11日開催の令和5年度第3回高知県災害医療対策会議において協議いただいたところ、高知県災害医療対策会議の部会として、令和6年度より新たに検討部会を設置することとなった。

### 4. 第1回CBRNE災害検討部会における検討内容について（R6.9.6開催）

#### （1）資機材整備の方針について

- ・整備箇所について、現在と同様に、高知赤十字病院、近森病院、高知医療センターの3病院とする。
- ・対象資機材について、これまでは、水除染による対応を前提として資機材整備を行っていたが、今後は乾式除染による対応を前提とした資機材整備を検討する。
- ・差しあたって、乾式除染に必要な資機材を選定し、今後の更新対象とする。

## (2) 医薬品の備蓄について

- ・必要となる医薬品を検討した上で、それぞれ備蓄場所及び備蓄数についても検討を行う。
- ・なお、検討に際しては、医薬品を所管する薬務衛生課、県薬剤師会等と協議を行いながら進めていく。

## (3) 研修会（座学）の実施について

- ・県内において、CBRNE 災害に関する知識を持つ者が少ないことから、まずは座学を中心とした、研修を実施することとする。
- ・なお、講師について、県内に適任者がいない場合は、県外の講師を呼ぶことも検討する。

## (4) 指揮命令系統、体制の確認について

- ・CBRNE 災害発生時、県の窓口はどこになるか、どのタイミングで誰から医療機関に対し連絡があるのかなど、県内における連絡及び連携体制について整理を行う。

## (5) 実動訓練の実施について

- ・(3) により知識を深め、また、(4) により体制の整理を行った上で、消防、警察、自衛隊等の関係機関と連携した実動訓練を実施する。

## 5. R6 年度高知県 C B R N E 災害対策研修について (R7. 2. 19 開催)

第 1 回 C B R N E 災害検討部会における検討結果を受け、別紙のとおり医療機関のみならず、消防、警察、自衛隊等の関係機関と連携のうえ、研修を実施した。

当該研修では講師として、松山赤十字病院救急部長の森實岳史先生をお呼びし、C B R N E 災害に関する講義をしていただいたほか、各関係機関の活動方針等の紹介や、図上演習による体制の確認を実施した。

# R6年度 高知県CBRNE災害対策研修

## 1 概要

医療機関のみならず、消防、警察、自衛隊等の関係機関と連携し、高知県においては初となるCBRNE災害対策研修を実施。各関係機関における活動方針や体制、保有する資機材について、それぞれ紹介していただくとともに、図上演習の実施によりお互いの状況や役割を確認し、連携体制の強化を図った。

## 2 研修について

開催日時：令和7年2月19日（水） 13時～17時

開催場所：高知県庁本庁舎 正庁ホール

参加者：42名

参加機関：①高知医療センター、②高知赤十字病院、③近森病院、④高知大学医学部附属病院、⑤高知県警察本部、⑥高知市消防局、⑦陸上自衛隊第14旅団、⑧高知県危機管理部及び⑨健康政策部

### 【研修内容】

- (1) CBRNE災害に関する講義  
講師：松山赤十字病院 医師
- (2) 各関係機関における活動方針等の紹介
- (3) 図上演習
- (4) 実習（サーベイメーターの使用法）
- (5) 意見交換

## 講義



## 各関係機関における活動方針等の紹介



## 各関係機関における活動方針等の紹介



## 図上演習



- ・他機関の活動内容を把握し、情報共有も出来た。
- ・今後も定期的に研修等を実施し、顔の見える関係作りをしていきたい。
- ・今後は机上研修のほか、実動訓練も実施したい。
- ・医療機関側の人材育成についても検討が必要。

## サーバイメーターの実習



## 意見交換

